

全国各地で運営されている二十の地域SNが協力する支援プロジェクトの一環。荷物

や病人を隣村へ次々とつないで遠隔地へ届けた江戸時代の「村継ぎ」

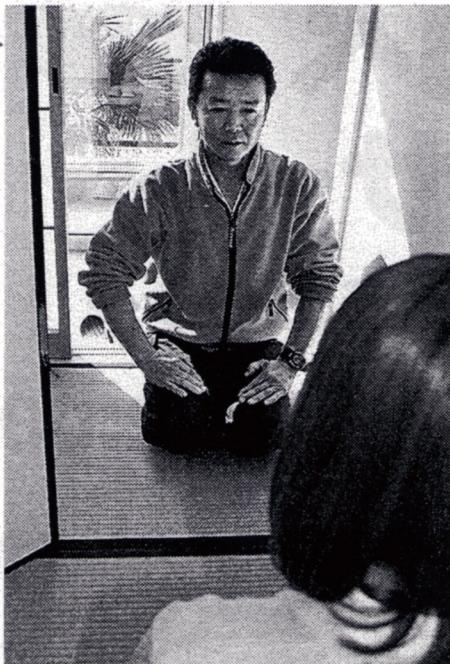
愛つちには三週間で、東海三県などからノートや鉛筆など段ボール一百箱分の善意が

愛知の病院

つなごう
医療

△52△

もともとは奈良刑務所篤志面接員も務めた実業家の故吉本伊信さんが、七十年ほど前に始めた自己啓発法。不登校や非行、アルコール・薬物依存、人間関係の改善などに効果があるといわれ



新舞子メンタルクリニック ▷創設 2011年 ▷精神科医1人、内観担当1人、臨床心理士(非常勤)4人 ▷心療内科、精神科、児童精神科 ▷知多市新舞子大瀬20の2。名鉄常滑線新舞子駅から徒歩2分 ▷電0569(43)1173

内観通し自然治癒力

と思えることが大切」と
話す。
(田中富隆)

心癒やす手伝いを

クリニックの前には新舞子海岸が広がり、晴天の日は複数のセーリングボードが光る波の上を滑る。知多市で生まれ育つた永田文隆院長(四三)が高校時代に友達と将来を語りたり、夕日や波の音に癒やされたりした浜辺の近くに一月開院した。

「波のリズムや輝きは、発達障害などの情緒にも良い。精神科の受診に抵抗のある人はまだ多いが『海に行くついでに』という気持ちで寄つてもらいたい」

特徴的な診療は「内

観」と呼ばれる心理療法。身内を含む周囲の人間をどう思っているかと

いう自分の認識を、幼いころから年齢順に振り返ることで、自分自身だけではなく他のとの関わりも見直す。

る。近年は企業研修にも採用され、欧米にも広がっている。

泊まり込みの「集中内観」と、通院など分散して行う「日常内観」があり、同院では日常内観に取り組む。クリニック二階に置きの和室を設け、一角をひょうぶで囲

つて半畠ほどの空間をつくり、患者はそこで静かに自らの過去を回想す

ることで、自分自身だけ

でなく他のとの関わりも見直す。

現在の患者は、知多市

藤田保健衛生大病院の

産婦人科医としてスター

二十人ほどで、診療の回

数は患者の状態によって

や更年期に精神的な悩み

なく、自分の力で治した

治療力を重視するため。

「患者が人に治してもら

う氣の持ち方をしてもら

い、心を癒やす手伝いが

用したのも、患者の自然

できること

できることは一切しな

い」という。

この連載は土曜日に

掲載します。過去の記

事は「中日 医療サイ

ト」で読めます。

この連載は土曜日に

掲載します。過去の記

事は「中日 医療サイ

ト」で